

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 熊本県水上村  
本事業の担当部局名 地方創生推進課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.3 出会いの機会・場の提供に関する取組						
個別事業名	水上村の恋活(水上ツーリズム推進事業)				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和6年度
総事業費(A)(円)	2,400,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	2,400,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	2,400,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	2,400,000	0	0	0	0	2,400,000
	対象経費支出予定額	2,400,000	0	0	0	0	2,400,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 水上村人口ビジョンにおいては、人口減少が本村の将来に与える影響を抑えるために、出生数が増加する環境をつくり、社会減を減らすことによって、人口減少に歯止めをかける必要がある。そのため、安心して暮らし続ける地域づくりや雇用の創出など具体的な地方創生を以下の4つの視点によって推進し、そのうちの一つに「水上村に住む若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」としている。 10年前と比べると、婚姻数・出生数ともに減少傾向にあり、緊急に対策を講じる必要がある。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 本村在住の独身者のパートナー探しについて出会いの場を創出するだけでなく、村・婚活コーディネーター等と伴走し、自分からパートナーを探ることができるよう(自走化できるよう)事業を推進する。(村外からの)パートナーを本村へ招くことで、関係人口増、社会増へつなげ、将来的に婚姻数増や自然増を目指す。</p>						
番号	項目	内容					
1	水上村の恋活イベント R7年度第1弾	<p>結婚の希望を叶えられるよう、出会いの機会の場を提供するため、委託により次のとおり婚活イベントとスキルアップセミナーを開催する。 イベント・セミナーの開催にあたって、本村在住の独身者への周知、参加を促すとともに、イベント・セミナー参加者に対して婚活コーディネーターによる相談体制をとる。 本村は、九州高速道最寄りのICから車で50分かかると、地理的に遠く、女性陣の参加をより多く見込みたいため、村内の男性陣が熊本市内に赴き、恋活にチャレンジするスタイルとする。</p> <p>○男性向けセミナー(イベント前の作戦会議) ・イベントの前にセミナー1回 ・参加予定者数(定員):10人 ・内容:自己分析、イベント参加における身だしなみなど</p> <p>○恋活イベント(R7第1弾) ・参加予定者数(定員):20人(男女各10人) ・内容:自己紹介、1on1トーク等 ・対象:おおむね20~30歳代の独身者 ※参加費を次のとおり徴収し、徴収した参加費は、「寄付金その他の収入額」として計上。 男性@3,000円×10名、女性@3,000円×10名(小計60,000円)</p> <p>○周知・広報について ・村回覧、チラシ配布、村ホームページ、SNS(Instagram、フェイスブック、ラインなど)</p>					

個別事業の内容

2	<p>水上村の恋活イベント R7年度第2弾</p>	<p>結婚の希望を叶えられるよう、出会いの機会の場を提供するため、委託により次のとおり婚活イベントとスキルアップセミナーを開催する。          イベント・セミナーの開催にあたって、本村在住の独身者への周知、参加を促すとともに、イベント・セミナー参加者に対して婚活コーディネーターによる相談体制をとる。          本村は、九州高速道最寄りのICから車で50分かかかるなど、地理的に遠く、女性陣の参加をより多く見込みたいため、村内の男性陣が熊本市内に赴き、恋活にチャレンジするスタイルとする。</p> <p>○男性向けセミナー(イベント前の作戦会議)          ・イベントの前にセミナー1回          ・参加予定者数(定員):10人          ・内容:自己分析、イベント参加における身だしなみなど</p> <p>○恋活イベント(R7第二弾)          ・参加予定者数(定員):20人(男女各10人)          ・内容:自己紹介、1on1トーク等          ・対象:おおむね30~40歳代の独身者          ※参加費を次のとおり徴収し、徴収した参加費は、「寄付金その他の収入額」として計上。          男性@3,000円×10名、女性@3,000円×10名(小計60,000円)</p> <p>○周知・広報について          ・村回覧、チラシ配布、村ホームページ、SNS(インスタグラム、フェイスブック、ラインなど)</p>
3	<p>水上村の恋活R7年度第3弾</p>	<p>結婚の希望を叶えられるよう、出会いの機会の場を提供するため、委託により次のとおり婚活イベントとスキルアップセミナーを開催する。          本村は、九州高速道最寄りのICから車で50分かかかるなど、地理的に遠いため、女性陣は、熊本市内からバスを運行し、本村まで赴いてもらい、恋活とともに、本村を知ってもらうきっかけとなるよう実施。          全国版TV番組でも紹介された、関東の結婚相談所が所有する世界に1台しかないAIを使って、マッチングを促す。また、AI診断(結果)については、男性分は事前セミナーで行い、女性分については行道のバス内で実施予定のセミナー内で診断。診断の結果を基に、マッチングを行い、交流や会話のきっかけとする。          イベント・セミナーの開催にあたって、本村在住の独身者への周知、参加を促すとともに、イベント・セミナー参加者に対して婚活コーディネーターによる相談体制をとる。</p> <p>○男性向け事前セミナー(イベント前の作戦会議)          ・イベントの前にセミナー1回          ・参加予定者数(定員):20人          ・内容:自己分析、イベント参加における身だしなみなど</p> <p>○女性向けセミナー          ・にセミナー1回          ・参加予定者数(定員):20人          ・内容:自己分析、イベント参加における心得など</p> <p>○恋活イベント(R7第三弾)          ・参加予定者数(定員):40人(男女各20人)          ・内容:自己紹介、村内を周遊しながら1on1トーク等          ・対象:おおむね20~40歳代の独身者(恋活イベント第一・二弾参加者優先)          ※参加費を次のとおり徴収し、徴収した参加費は、「寄付金その他の収入額」として計上。          男性@6,000円×20名、女性@6,000円×20名(小計240,000円)</p> <p>○周知・広報について          ・村回覧、チラシ配布、村ホームページ、SNS(インスタグラム、フェイスブック、ラインなど)</p>

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>  
 前年度において、出会いの場の創出と、自分磨きを目的として、2回の「水上村の恋活」事業を行い、村内参加者は約20名。1回目と2回目の参加者は重ならない形で年齢等で区切った。  
 地方での婚活イベントは限りがあり、参加者の視点で、前年度だけを見ると、1年に1度参加ペースであり、出会う機会はまだまだ限られていることをふまえ、R7年度はイベントを1回増やし、単年度で見ると1人2回は参加いただけることを目標に企画する。  
 また、AIを活用したマッチングを新しく登用することで、参加者自身のモチベーション維持を図り、また、参加者のマッチングの可能性を広げることとする。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	2 (R6年)	2.32 (R5年度末時点)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			2.32 (R6年度末時点)	
	婚姻件数		件	3 (R5年時点)	
	婚姻率			1.51 (R5年時点)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	水上村の恋活イベントR7年度第1弾参加者数	人	20 (R7年度時点)	20 (R6年度時点)
	②	水上村の恋活イベントR7年度第2弾参加者数	人	20 (R7年度時点)	--- (R6年度時点)
	③	水上村の恋活イベントR7年度第3弾参加者数	人	40 (R7年度時点)	--- (R6年度時点)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70 (R7年度時点)	60 (R6年度時点)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	引き合わせ成立率(R7に実施予定の3回分の総計)	%	60 (R7年度時点)	50 (R6年度時点)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					